

所 報

(2021.5.1～6.30)

- 研究員人事 (6月1日付)
研究補助員 (RA) 宇野 淳子

□刊行物

『大原社会問題研究所雑誌』752号 (2021年6月)
『大原社会問題研究所雑誌』753号 (2021年7月)
『日本労働年鑑』第91集 (2021年版) 旬報社

□図書受入 (5月)

	和 書	洋 書	計
購 入	112	0	112
受 贈	0	30	30
合 計	112	30	142

□図書受入 (6月)

	和 書	洋 書	計
購 入	5	17	22
受 贈	121	1	122
合 計	126	18	144

□閲覧サービス (5月)

閲覧
開館日数 18日
閲覧者数 12名
貸出図書 12冊
コピーサービス
学外 7件 283枚
学内 2件 41枚

□閲覧サービス (6月)

閲覧
開館日数 22日
閲覧者数 13名
貸出図書 6冊
コピーサービス
学外 8件 1003枚
学内 0件 0枚

日 誌

□5月

- 1日 事務職員の部分的テレワーク継続 (～31日)
10日 地下3階書庫資料除塵・カビ除去作業 (埼玉福祉会) (～21日)
11日 来所:平塚らいてうの会 (対応:榎, 土井)
12日 所員会議 (オンライン)
事務会議 (オンライン)
『日本労働年鑑』編集会議 (オンライン)
19日 運営委員会 (オンライン)
議題①「2021年度自己点検・評価シート」,
「2021年度中期目標・年度目標達成報告書」の承認
②「法政大学大原社会問題研究所2020年度の歩み」の承認
③RAの承認
④2021年度研究会, 共同研究プロジェクトの承認について
⑤その他

『大原社会問題研究所雑誌』編集委員会 (オンライン)

月例研究会 (オンライン)

惠羅さとみ (法政大学社会学部准教授)「建設労働と移民——社会学における産業労働研究の視点から」

- 20日 『大原社会問題研究所雑誌』Webサイト検討会議
22日 社会政策学会第142回大会 (オンライン, ～23日, 参加:鈴木玲, 榎, 藤原)
24日 大原社会政策研究会 (第82回) (オンライン)
藤原千沙 (法政大学大原社会問題研究所専任研究員)「貧困と子育てのダイナミクス——コロナ禍における母子世帯の毎月パネル調査から」

□6月

- 1日 事務職員の部分的テレワーク継続 (～30日)
2日 所員会議 (オンライン)
事務会議 (オンライン)
3日 地下書庫臨時清掃 (エイチ・ユー) (～5日)
16日 運営委員会 (オンライン)
18日 授業:法政学への招待 (於:市ヶ谷, 鈴木所長)
24日 ILO駐日事務所と国際労働問題シンポジウム打ち合わせ (オンライン, 参加:鈴木所長, 鈴木副所長, 藤原, 榎)
25日 2021年度大原社研シネマ・フォーラム打ち合わせ (鈴木副所長, 中村, 菊地)
月例研究会 (オンライン)
テーマ:『労働者と公害・環境問題』を読む (2020年度大原社研叢書の合評会)

コメンテーター：森久聡（京都女子大学准教授）、兵頭淳史（嘱託研究員，専修大学教授）
26日 大原社会政策研究会（第83回）（オンライン）

跡部千慧（立教大学コミュニティ福祉学部助教）「小学校教員におけるジェンダー間職務分離の考察に向けて」

法政大学大原社会問題研究所 2020年10月7日からの来館サービス案内（抄）

【開館時間】〈平日〉10：00～11：30，12：30～16：00
必ず3日前までに来館予約してください。閲覧人数は1日3名までとなります。

【入館にあたっての注意事項】

以下のいずれかにひとつでも該当する場合は入館できません。

- ・入館当日を含め14日以内に、「発熱」「のどの痛み」「鼻水」「咳」「息苦しさや強いだるさ」「味覚障害」等の新型コロナウイルスの感染が疑われる症状がある
- ・入館当日を含め14日以内に海外への渡航歴がある
- ・新型コロナウイルス感染症の濃厚接触者である

【館内での注意事項】

- ・飲食および喫煙は不可とします。
- ・滞在中は常にマスクを着用し、手洗い・手指の消毒の励行をお願いいたします。
- ・鉛筆のみ使用可能ですのでご持参ください。
- ・指定された場所で閲覧してください。
- ・大きい声で話さないでください。

【大原社会問題研究所の感染拡大防止対策】

新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、当研究所では以下の通り実施しています。

- ・カウンターの飛沫防止対策（透明シート等の設置）
- ・館内に消毒液設置
- ・研究所スタッフの健康管理および業務中のマスク着用
- ・定期的な窓開け換気
- ・使用したパソコン、ロッカー、机、椅子の都度アルコール除菌

*なお、感染者発生の今後の動向および法政大学の方針により、来館サービスが中止になる可能性もありますので、ご了承願います。

【館外貸出】【非来館サービス】

通常通りに行っています。詳しくはお問い合わせください。

（2021年7月1日現在）

大原社会問題研究所雑誌

No.755・756（2021年9・10月号）

2021年10月1日発行

定価 2,037円（本体1,852円＋税10%）

年間購読 12,000円（税込）

編集（兼）発行人 法政大学大原社会問題研究所

編集長 藤原千沙

所長 鈴木 玲

〒194-0298 東京都町田市相原町 4342

電話 042（783）2305

印刷 株式会社相模プリント

投稿募集

『大原社会問題研究所雑誌』は、社会労働問題に関する学術研究雑誌で、「論文」「資料紹介」「調査報告」の投稿を受け付けております。下記の投稿規程と執筆要領に基づいてご投稿ください。規程と要領に沿わない原稿は受理できません。[2019.10.1 改定]

投稿規程

1. 投稿原稿はワープロ・パソコン作成による未発表のものに限ります。
2. 投稿原稿の分量は、原則 20,000 字以内（図表・スペースを含む）です。
3. 投稿原稿は、審査用原稿となりますので、本文や注などで執筆者が特定される記述をしないでください。1 ページ目は、原稿の題目に続けて無記名で本文に入ってください。
4. 原稿の採否は、本誌編集委員会が指定する審査員の査読を経て、本誌編集委員会が決定します。「論文」は審査の結果、「研究ノート」となることがあります。
5. 掲載原稿には、掲載誌 2 冊と抜刷 30 部をさしあげます。
6. 投稿者は、次の各 3 部を下記宛てに郵送してください。

A：投稿原稿（審査用原稿）

B：投稿原稿の要旨（1,000 字程度）

C：表題紙

C の表題紙に記載する事項は、投稿原稿の、①題名、②目次、③分量（図表を除く文字数（スペースを含める））、④図表の有無と数、⑤著者の氏名（よみがなを併記）、⑥肩書き（所属・職名、大学の場合は学部等まで）、⑦略歴、⑧連絡先（郵便番号、住所、電話番号、電子メールアドレス）です。

7. 投稿者は、投稿原稿の郵送後、B：投稿原稿の要旨、C：表題紙を、下記宛てに電子メール（もしくは FAX）で送信してください。件名は【投稿(お名前)】としてください。

『大原社会問題研究所雑誌』編集委員会宛

【郵送先】〒194-0298 東京都町田市相原町 4342 法政大学大原社会問題研究所

【メールアドレス】ohara-journal@hosei.ac.jp 【FAX】042-783-2311

投稿原稿 執筆要領

1. A 4 判の横書き、40 字×40 行、下部にページ数を付し、白黒・片面で印刷する。
2. 原則として、数字は算用数字、句読点は「、」と「。」を用いる。
3. 本文の各節には「.」のない 1 2 …を用いる。
4. ワードプロソフトによる脚注の挿入機能は使用してよい。
5. 図表は、白黒印刷できるものを提出する。本文には余白に【表 1】等と挿入場所を指定し、図表そのものは別紙に一括し、通し番号をつける。図表の文字換算数は定めないが、審査にあたっては、図表の大きさで全体の分量を概算する。
6. 参考文献は、著者名・発行年・論文名・雑誌名（書籍名）・巻号（出版社）・雑誌の場合は頁数を記述し、著者名（姓）のアルファベット順または五十音順に記載する。ただし他の記載方法も可とする。

【記載例】

榎一江（2017）「近代日本のパターナリズムと福利施設」『大原社会問題研究所雑誌』705 号、29-43 頁。

原伸子（2015）「イギリスにおける福祉改革と子どもの貧困——「第三の道」と社会的投資アプローチ」原伸子・岩田美香・宮島喬編『現代社会と子どもの貧困——福祉・労働の視点から』大月書店。

Suzuki, Akira（2016）“Japanese Labour Unions and Nuclear Energy: A Historical Analysis of Their Ideologies and Worldviews,” *Journal of Contemporary Asia*, Vol.46, No.4, 591-613.